DJI MIC

ユーザーマニュアル

v1.2 2023.01

キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Readerを使用して本書をお読みの場合、WindowsではCtrl+F、MacではCommand+Fを押して検索を開始できます。

トピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。

本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

もくじ

はじめに 2

DJI Mic トランスミッター 2

DJI Mic レシーバー 4

充電ケース 5

操作 6

リンク 6

DJI Mic の使用 6

OLED タッチ画面の操作 8

トランスミッターの録音 10

音声ファイル 10

ファームウェアの更新 10

充電ケースの操作 11

仕様 12

アフターサービス情報 13

© 2023 DJI All Rights Reserved.

はじめに

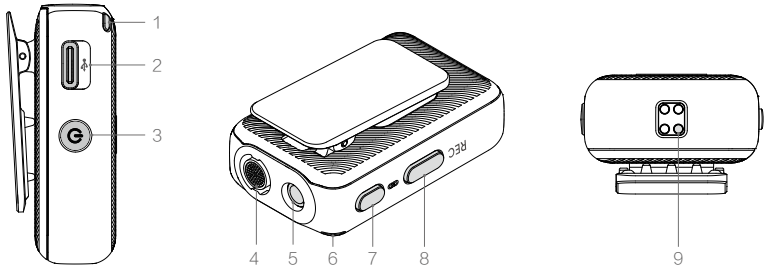
DJI™ Micは、2台のトランスミッターと1台のレシーバーが同梱された、デュアルチャンネル録音ができるワイヤレスマイクシステムです。最大250 m*先にある2つの音源を同時に録音できます。トランスミッターは、無指向性マイクを内蔵し、外部マイクの使用にも対応しています。また、服や音源に近い場所にクリップマグネットで留めることができます。DJI Micは、8GBの内蔵ストレージを搭載し、最大14時間**まで音声を録音できます。

レシーバーには、OLEDタッチ画面を搭載され、リアルタイムで音量、無線信号強度、ゲイン、録音モードなどを確認できます。拡張ポートを利用することで、レシーバーをカメラやスマートフォンに接続して高音質の録音を実現します。レシーバーをパソコンに接続してマイクとして使用したり、モニターポートを使用して音声をリアルタイムでモニタリングしたりすることもできます。付属の充電ケースは、トランスミッターとレシーバーを同時に充電し、両方を自動でリンクすることができます。

* FCCに準拠し、障害物のない、屋外環境で測定。
** 48,000Hzサンプリングレートと24bit WAV音声フォーマット（モノラル）を使用して測定。

⚠ DJI Micには複数のコンボがあり、それぞれに追加アイテムが同梱されています。このマニュアルで説明している特長は一般的なもので、全てのコンボに当てはまります。

DJI Mic トランスミッター



1. システムステータス インジケーター
   レシーバーとの接続状態やトランスミッターのバッテリー残量を表示します。

点滅パターン	説明
接続状態	
点灯	レシーバーとの接続完了
ゆっくりと点滅	レシーバーに未接続
素早く点滅	リンク中
赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェアの更新中
バッテリー残量の説明	
緑色点灯	バッテリー残量 ≥ 20%
赤色点灯	バッテリー残量 < 20%

© 2023 DJI All Rights Reserved.

充電中のバッテリー残量	
緑色にゆっくり点滅	バッテリー残量：0〜25%
緑色2回点滅	バッテリー残量：26〜50%
緑色3回点滅	バッテリー残量：51〜75%
緑色4回点滅	バッテリー残量：76〜100%
オフ	充電完了

2. データポート (USB-C)
パソコンに接続して、音声ファイルをコピーしたり、ファームウェアを更新したりできます。また、充電することもできます。

3. 電源ボタン
長押しすると、電源をオン／オフします。2回押すと、ミュートになります。

4. 内部マイク
音声の録音用です。

5. 3.5 mmTRS入力
外部マイク接続用です。24 Vまたは48 Vの電源のマイクは絶対に接続しないでください。

6. 録音ステータスLED
トランスミッターの録音状態を表示します。

点滅パターン	説明
赤色点灯	録音中
赤色に点滅	ミュート
オフ	録音停止

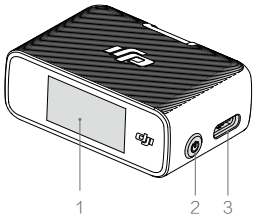
7. リンクボタン
長押しして、レシーバーへのリンクを開始します。レシーバーがスマートフォンに取り付けられ、一旦トランスミッターとリンクされた状態では、1回押すとスマートフォンで写真撮影、もしくは録画開始・停止の操作をします。（音量ボタンを使用して写真撮影や動画の開始・停止ができるスマートフォンのみ対応）

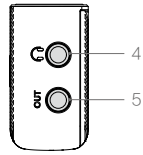
8. 録画ボタン
1回押すと、録画を開始／停止します。

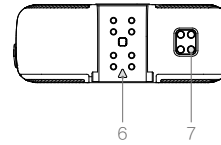
9. 充電用 接点端子
トランスミッターを充電ケースに収納し、接点端子同士が接触すると、充電を開始します。さらにトランスミッターは充電ケース内のレシーバーと自動でリンクします。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

DJI Mic レシーバー



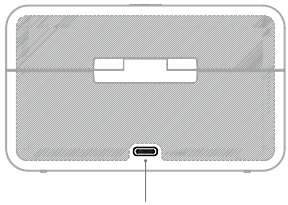


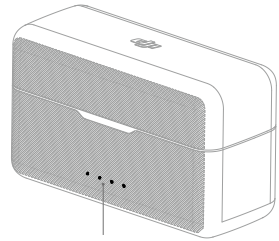


1. OLEDタッチ画面
   リアルタイムでの音量、レシーバーとトランスミッターのバッテリー残量、充電状態、無線信号強度、ゲイン、録音モードなどの情報を表示します。画面を上下にスライドすると、設定にアクセスできます。
2. 電源ボタン
   長押しすると、電源をオン／オフします。1回押すと画面にロックがかかり、再度押すとロックを解除します。
3. データポート (USB-C)
   パソコンに接続すると、ファームウェアの更新に使用したり、パソコンのマイク入力として使用したりできます。充電にも使用できます。
4. モニターポート
   3.5 mmTRSヘッドフォンを接続して、トランスミッターの録音をモニタリングできます。
5. 3.5 mm TRS出力
   カメラへの音声出力用です。24 Vまたは48 V出力のデバイスは絶対に接続しないでください。
6. 拡張ポート
   スマートフォンアダプターを使用してスマートフォンに接続したり、ホットシューアダプターを使用してカメラに接続したりします。
7. 充電用 接点端子
   レシーバーを充電ケースに収納し、接点端子同士が接触すると、充電を開始します。さらにレシーバーは充電ケース内のトランスミッターと自動でリンクします。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

充電ケース





1. USB-C充電ポート
   充電ケースの充電用です。
2. バッテリー残量LED
   充電ケースのバッテリー残量を表示します。

● LED点灯	☼ LED点滅	○ LED消灯

LED1	LED2	LED3	LED4	充電中のバッテリー残量（LEDが順番に点滅）
☼	☼	☼	☼	76～99%
☼	☼	☼	○	51～75%
☼	☼	○	○	26～50%
☼	○	○	○	≤ 25%
○	○	○	○	充電完了（電源オフ）
LED1	**LED2**	**LED3**	**LED4**	**バッテリー残量**
●	●	●	●	76～100%
●	●	●	○	51～75%
●	●	○	○	26～50%
●	○	○	○	10～25%
☼	○	○	○	< 10%

© 2023 DJI All Rights Reserved.

操作

リンク

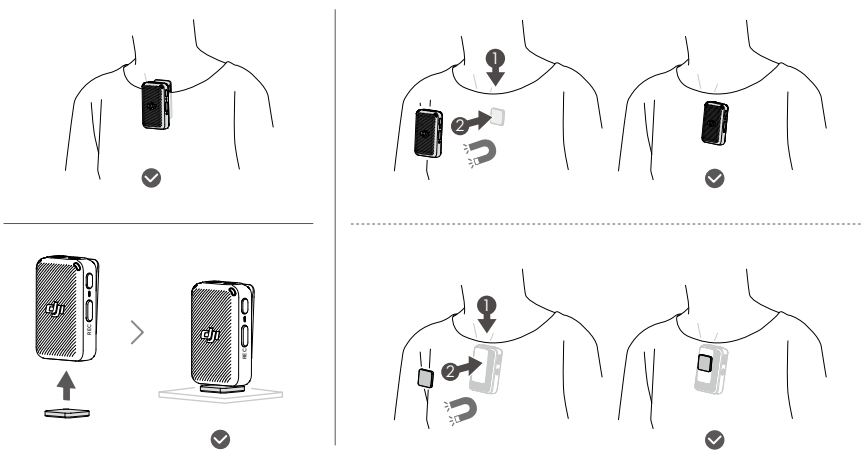
トランスミッターとレシーバーは、デフォルトでリンク済みです。トランスミッターとレシーバーが切断されている場合は、以下のいずれかの手順に従ってリンクします。

1. トランスミッターとレシーバーを充電ケースに入れると、自動でリンクします。
2. トランスミッターとレシーバーの電源を入れます。次にトランスミッターのリンクボタンを長押しし、レシーバーの画面で下にスライドして、[設定]を選択し、スクロールして[デバイスをリンク]をタップしてリンクを開始します。リンクが正常に完了すると、ステータスLEDが緑色に点灯します。

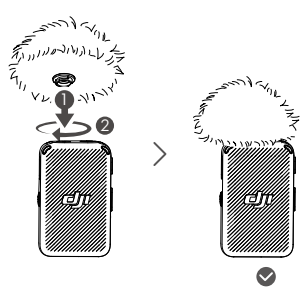
DJI Micの使用

トランスミッター

クリップ マグネットを使用して、トランスミッターを服や安定した表面に装着できます。背面クリップを使用して、トランスミッターを服に留めることもできます。



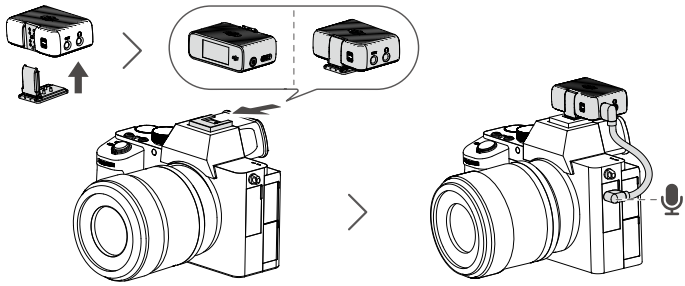
トランスミッターを屋外または風の強い環境で使用する場合は、ウィンドスクリーンを使用することをお勧めします。ウィンドスクリーンを内蔵マイクの位置に合わせ、トランスミッターに取り付け、ウィンドスクリーンを回転させて所定の位置に固定します。



© 2023 DJI All Rights Reserved.

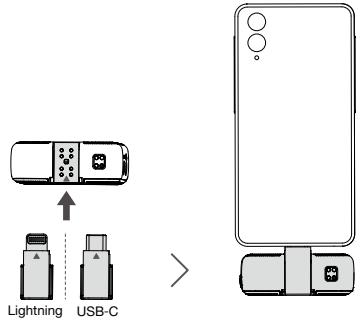
レシーバー

1. カメラとの併用
   音声を録音してカメラに送信するには、ホットシューアダプターを使用してレシーバーをカメラに装着し、付属のカメラ音声ケーブルを使用してカメラのマイクポートに接続します。



⚠ 音声ひずみを避けるために、カメラの音量を下げてください。

2. スマートフォンとの併用
   スマートフォンアダプターを使用してレシーバーをスマートフォンに接続し、音声を録音してスマートフォンに送信します。レシーバーをスマートフォンから切断した後でも音声を再生できます。



⚠
- レシーバーの3.5 mmTRS出力ポートは、スマートフォンアダプターに接続しても出力できません。
- レシーバーをスマートフォンアダプター（Lightning）に接続した場合は、モノラルモードのみ使用できます。
- スマートフォンのスピーカーは、レシーバーをスマートフォンに接続しても、音声の出力ができません。代わりにBluetoothヘッドフォンまたはBluetoothスピーカーを使用できます。

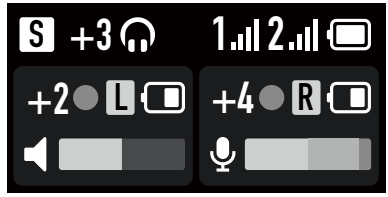
© 2023 DJI All Rights Reserved.

3. パソコンとの併用

レシーバーのUSB-Cポートを介してパソコンと接続し、パソコンのマイク入力として使用します。

⚠ 標準の充電ケーブルを使用してDJI Micをパソコンに接続し、パソコン上で関連する入力設定画面で設定を行います。

OLEDタッチ画面の操作



ホーム

画面上段にはレシーバーの状態が表示されます。

S：録音モード。S（ステレオ）、M（モノラル）、Ms（モノラル セーフティトラック）から選択します。

+3：レシーバーのゲインを表示します。

：外部ヘッドホンと接続している時に表示します。

1：トランスミッター 1 とレシーバー間の無線信号強度を表示します。接続しているトランスミッターが 1 台しかない場合は、1 台のトランスミッターの情報のみが表示されます。

2：トランスミッター 2 とレシーバー間の無線信号強度を表示します。

：レシーバーのバッテリー残量を表示します。

画面中段にはトランスミッターの状態が表示されます。

+2/+4：トランスミッターのゲインを表示します。

●：音声の録音中、表示されます。

L/R：音声チャンネルを表示します。

：トランスミッターのバッテリー残量を表示します。

画面下段には、リアルタイムの音量が表示されます。

「」内蔵マイクの音量を表示します。

「」音量ミュート時に表示します。

「」外部マイクの音量を表示します。

設定

下にスライド

画面の上から下にスライドすると [設定] にアクセスでき、左または右にスライドすると設定項目を選択でき、上にスライドすると前の画面に戻ります。

録音モード設定

S（ステレオ）、M（モノラル）、Ms（モノラル セーフティトラック）から選択します。

 © 2023 DJI All Rights Reserved.

モノラル：モノラルモードでは、2 台のトランスミッターにより録音された音声は 1 つのチャンネルになります。

セーフティトラックを使用したモノラル：モノラルモードと同様に録音しますが、音源の音量が急激に大きくなったことでメイントラックに音声ひずみが生じる場合に備えて、音量を 6 dB 下げた状態のバックアップ用トラックも録音します。

ステレオ：ステレオモードでは、音声は左右のチャンネルに分けられます。

レシーバー ゲイン：音声がひずんでいる場合は下げることができます。

モニターの音量：タップしてレシーバーの音量を調整します。

トランスミッターの設定

ローカット：ローカットが有効になっている場合、150 Hz 以下の音声はフィルタリングされます。

トランスミッターのゲイン：タップすると、リアルタイムでの音量に応じてトランスミッターの入力ゲインを調整できます。音量バーが赤色に変わったら、それに応じてゲインを下げてください。トランスミッターのゲインは、録音の音量に影響します。ご注意ください。

録音停止ロック：デフォルトでオフ。録音停止ロックがオンの場合、ユーザーは録音ボタンを押しても録音を停止することができないため、誤操作を防ぐことができます。

自動録音：デフォルトでオン。自動録音がオンの場合、電源を入れた時に、トランスミッターは自動的に内部収録を開始します。

振動通知：振動通知の有効／無効を切り替えます。振動通知を有効にすると、トランスミッターは以下の状況で振動します。

操作	振動
電源オン	短く振動する
電源オフ	長く振動する
録音開始	短く振動する
録音停止	2回振動する

LED 輝度：トランスミッターの LED の輝度を設定できます。

一般設定

デバイスをリンク：タップすると、トランスミッターとレシーバーをリンクします。

明るさ：タップして画面の明るさを調整します。

言語：画面に表示できる言語は、英語、簡体中国語、繁体中国語、日本語、韓国語、タイ語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、ポルトガル語、イタリア語、ロシア語、トルコ語、インドネシア語、ポーランド語に対応しています。

日時：録音ファイルの日時を設定します。

リストア：タップすると、設定をデフォルトにリセットします。

バージョン：SN（シリアル番号）、レシーバーのファームウェアバージョン、接続されているトランスミッターのファームウェアバージョンを確認できます。

コンプライアンス情報：コンプライアンス情報を表示します。

上にスライド

画面下部から上にスライドすると、録音の確認や制御、ミュートの有効／無効の切り替え、残りの録音時間を確認できます。画面左側の下部から上にスライドするとトランスミッター 1 の設定を調整でき、画面右側の下部から上にスライドするとトランスミッター 2 の設定を調整できます。

© 2023 DJI All Rights Reserved.

トランスミッターの録音

トランスミッターの電源を入れた後、録音ボタンを 1 回押すと録音を開始し、もう 1 回押すと停止します。

トランスミッターの録音済み音声フォーマットは、24 ビットモノラル WAV です。長時間録音する場合、ファイルは 30 分ごとに自動分割されます。最大録音時間は約 14 時間です。ストレージがいっぱいになった場合は、新しく録音された音声が、古い録音済み音声ファイルを上書きします。

音声ファイル

パソコンに接続すると、録音済み音声ファイルのエクスポートや削除できます。また、レシーバーで音声ファイルをフォーマットすることもできます。

ファームウェアの更新

新しいファームウェアがある場合は、トランスミッターとレシーバーを別々にパソコンに接続してファームウェアを更新します。

ファームウェアの更新方法：

1. 製品ページ www.dji.com/mic/downloads からファームウェアをダウンロードします。
2. 同梱の USB-C ケーブルを使用して、トランスミッターまたはレシーバーをパソコンに接続します。
3. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージ .bin ファイルをトランスミッターとレシーバーのルートディレクトリに保存します。
4. パソコンとの接続を切断後、トランスミッターとレシーバーは自動でファームウェア更新を開始します。

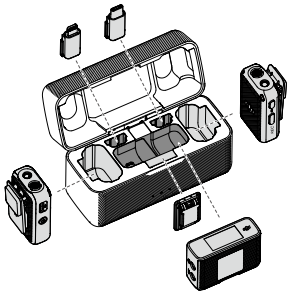
ファームウェアの更新に失敗した場合は、ファームウェアを再度ダウンロードし、トランスミッターまたはレシーバーを再起動して、上記の手順を繰り返してください。ファームウェアの更新が完了したら、レシーバーのファームウェアバージョンを確認して、ファームウェアが正常に更新されていることを確認してください。

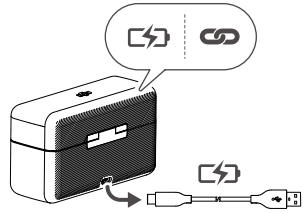
 © 2023 DJI All Rights Reserved.

充電ケースの操作

充電ケースを充電する際は、5 V/2 A の充電器を使用することをお勧めします。充電ケースは 1800 mAh の内蔵バッテリーを搭載しています。トランスミッターとレシーバーを充電ケースに入れると、充電を開始します。充電ケースを開けると、レシーバーは 3 つのデバイスのバッテリー残量と各トランスミッターの残り録音時間を表示します。充電ケースから取り外すと、トランスミッターとレシーバーの電源が入ります。トランスミッター、レシーバー、充電ケースを併用した場合の総動作時間は約 15 時間です。

スマートフォンアダプターやホットシューアダプターは、レシーバーに装着したままでも、充電ケースに収納することができます。





© 2023 DJI All Rights Reserved.

仕様

名称	DJI Mic トランスミッター
モデル	AST01
サイズ	47.3×30.4×20.0 mm
重量	30 g
無線モード	GFSK 1 Mbpsと2 Mbps
伝送電力 (EIRP)	< 20 dBm
動作周波数	2400-2483.5 MHz
バッテリータイプ	LiPo 1S
容量	320 mAh
電力量	1.23 Wh
電圧	3.85 V
充電温度	5℃～45℃
動作環境温度	-10℃～45℃
充電時間	1時間10分
動作時間	5時間30分
マイクの録音方向	全方向
周波数応答	ローカット オフ：50 Hz～20 kHz ローカット オン：150 Hz～20 kHz
最大音圧レベル (SPL)	114 dB SPL
最大入力レベル (3.5 mm)	-17 dBV (THD < 0.1%)
等価ノイズ	23 dBA
モニターインターフェース出力電力	最大出力 22mW@1kHz、32Ω

名称	DJI Mic レシーバー
モデル	ASR01
サイズ	47.4×32.2×17.4 mm
重量	24.9 g
無線モード	GFSK 1 Mbpsと2 Mbps
伝送電力 (EIRP)	< 20 dBm
動作周波数	2400-2483.5 MHz
バッテリータイプ	LiPo 1S
容量	320 mAh
電力量	1.23 Wh
電圧	3.85 V
充電温度	5℃～45℃
動作環境温度	-10℃～45℃
充電時間	1時間10分
動作時間	5時間

© 2023 DJI All Rights Reserved.

名称	充電ケース
モデル	ASB01
サイズ	103.1×61.9×41.5 mm
重量	162.2 g
バッテリータイプ	LiPo 1S
容量	1800 mAh
電力量	10 Wh
電圧	3.87 V
充電温度	5℃～45℃
動作環境温度	5℃～45℃
充電時間	2時間40分
動作時間	最大1.8回、3つのデバイスを同時に完全充電

アフターサービス情報

アフターサービスポリシー、修理サービス、サポートについては、https://www.dji.com/supportをご覧ください。

本内容は変更されることがあります。

最新版は下記よりダウンロードしてください
https://www.dji.com/mic

本書についてご質問がある場合は、以下にメッセージを送信してDJIまでお問い合わせください。DocSupport@dji.com

Copyright © 2023 DJI All Rights Reserved.